

1. 件 名：公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの事業者防災訓練報告について

2. 日 時：令和5年5月16日 10:00～11:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室（テレビ会議システムによる出席）

蔦澤防災専門職、澤村防災専門官、本間防災専門官

（以下、テレビ会議システムによる出席）

公益財団法人核物質管理センター東海保証措置センター

安全施設課長代理 他1名

5. 要 旨

公益財団法人核物質管理センターから、令和4年12月6日に実施した同法人東海保証措置センターにおける原子力事業者防災訓練について、配布資料に基づき、防災訓練実施結果報告の概要等の説明があった。

原子力規制庁から、以下の事項を伝えた。

- ・ 前回訓練時の改善点への取り組み結果について、項目の1と3は改善されたことが確認できているので、継続ではなく完了ではないか。
- ・ 今後の原子力災害対策に向けた改善点（対策）の項目①について、対策に記載された書架資料の充実に対する原因の記載が明確でない。原因と対策の関係を再整理すること。項目③についても再整理すること。
- ・ 今後の原子力災害対策に向けた改善点（対策）の項目②は説明が長いことの改善であり、説明内容が伝わらなかったわけではないので、報告書からは削除し、自主的な取り組みで改善すれば良いのではないか。
- ・ 第2部訓練の防災訓練の結果及び評価の(2)外部関係機関を含む情報共有訓練の評価の中で、第1部訓練と同様にERCへの説明についての評価が行われているが、ERCへの説明は、主として1部訓練での確認事項であるので、記載を削除すること。

公益財団法人核物質管理センターから、本日の面談を踏まえて防災訓練実施結果報告書を精査し、取りまとめた後に提出するとの説明があった。

6. その他

配布資料

資料 1 : 防災訓練の結果の概要（総合訓練）

（公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター）